

回覧印

鹿児島県会長は、昨年末の衆議院選挙について、「厳しい審議が下ったが、働くものの代表として広く国民の声を受け止めて、与野党間の真摯な論議で必要な



東連合鹿児島会長の挨拶

政策を推進するよう新政権に求めていく」と述べました。また、民主党が候補者を擁立できなかつた5区については、「候補者擁立に貢献できなかったことを反省している。次に生かすために県民から評価される行動をしなければならない」と述べました。

会長出身組織の電機関連企業では、企業閉鎖や構造改革で多くの組合員が退職していることに触れ、「これを対岸の火事として見ることなく、労働組合として常に経営をチェックする労使体制の確立や経済状況を見極めて、ベンチマークとする必要

連合鹿児島は1月10日、「2013新春旗開き」を鹿児島市内のホテルで開催、組合員や来賓の伊藤祐一郎鹿児島県知事、森博幸鹿児島市長など約400名が出席しました。すべての働くものの拠りどころとして、その力を結集して「働くことを軸とする安心社会」を築くために全力をあげていくことや、夏の参院選では連合推薦候補者全員の当選を目指して組織の総力を上げて取り組むことを誓いました。

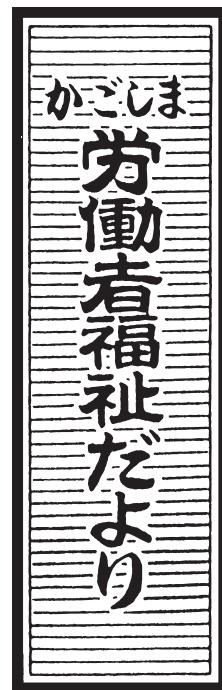
があるのではないか」、「官公の職場でもサービス等について活動の棚卸を行い、民間と官公の組合が力を発揮して魅力ある連合にしていこう」と述べました。

連合の目指す参加型社会については、未組織労働者を含めた組合社会についての基本的理解」のサブテーマで、たもつゆかり氏（オフィスピュア代表）が講演しました。

男女共同参画社会は、男女平等を当然の前提とした上で、さらに、男女が各人の個性に基づいて能力を発揮できる機会を保障する（個人の尊重）も重要な理念であると話しました。

鹿児島会長は、昨年末の衆議院選挙について、「厳しい審議が下ったが、働くものの代表として広く国民の声を受け止めて、与野党間の真摯な論議で必要な

連合鹿児島 400名が参加して新春旗開きを開催



第627号

〔発行所〕
鹿児島県労働者福祉協議会
〒890-0064
鹿児島市鴨池新町5-7-603

〔発行人〕
立石 博文
〔印刷〕
南日本新聞開発センター
〔編集〕
県労福協、九州労金
全労済、生協連



会場の様子



字は「金」。▼ロンドンオリンピックでのメダルラッシュの印象が強かったのか！鹿児島県出身では、女子サッカー選手、女子バレー、ボルト、銅メダルの迫田さおり、鹿児島市出身と新鍋理沙、霧島市出身、あらた山「金」鉱石の埋蔵量予想が、言えやはり純「金」。菱刈鉱山「金」鉱石の埋蔵量予想が、新たに30t増え、約180tになると発表された。採掘は1985年に始まり、これまで約200tが産出されている。さらに25年分ほどの埋蔵量となる。菱刈鉱山の金の1t当たりの含有量は世界最高であり、世界平均の8倍、世界第2位の南アフリカの金鉱石10g/tと比較すると4倍の含有量になる。「金」価格はこの10年で約四倍の高騰となっている。我々の懐も高騰となつて欲しい。▼シニア世代が選ぶ昨年の世相を表す漢字の1位は、「迷」で2位は「乱」。2009年の政治は「迷」い、年末の総選挙では「乱」となった。民主党は惨敗し、自民党が復権した。2009年民主党政権に託した、国民生活や地域を大事にする、政治の透明性、慣れ親しいうらみからの脱却等々について、有権者の思いは不变である。旧来の利権構造の復活は誰も望まない。▼政治と経済が「迷」走しないことを願う。

2013年2月15日

鹿児島県本部・鹿児島支店

新商品『マイプラン・Beサイド』
街頭チラシ配布

鹿児島市天文館で12月25日、
鹿児島県本部・鹿児島支店の職員8名が、新商品『マイプラン・Beサイド』のチラシ配布を行いました。

アーケード内はお仕事帰りの方を含め沢山の方が行き交い、「ろうきん、がんばっちゃんね！」の声を掛けて下さる方もあり、ちょっとしたプレゼントとなり、広く市民のみなさんに「知らせる」ことで新商品のアピールを行うことができました。今後とも、会員のみなさまとの協同を大切にしつつ、ろうきんを知らせる運動を継続していきます。



「こんにちは！ろうきんです！！
新商品『マイプラン・Beサイド』、
よろしくお願ひします（^O^）」

新商品『マイプラン・Beサイド』
街頭チラシ配布

鹿児島県本部・鹿児島支店

福祉金融機関「ろうきん」と
その果たすべき役割を教宣

鹿児島県本部



熱心に聴き入る県立短大
『非営利組織論』の聴講生

鹿児島市天文館で12月25日、
鹿児島県本部・鹿児島支店の職員8名が、新商品『マイプラン・Beサイド』のチラシ配布を行いました。

アーケード内はお仕事帰りの方を含め沢山の方が行き交い、「ろうきん、がんばっちゃんね！」の声を掛けて下さる方もあり、ちょっとしたプレゼントとなり、広く市民のみなさんに「知らせる」ことで新商品のアピールを行うことができました。今後とも、会員のみなさまとの協同を大切にしつつ、ろうきんを知らせる運動を継続していきます。

鹿児島市天文館で12月25日、
鹿児島県本部・鹿児島支店の職員8名が、新商品『マイプラン・Beサイド』のチラシ配布を行いました。

アーケード内はお仕事帰りの方を含め沢山の方が行き交い、「ろうきん、がんばっちゃんね！」の声を掛けて下さる方もあり、ちょっとしたプレゼントとなり、広く市民のみなさんに「知らせる」ことで新商品のアピールを行うことができました。今後とも、会員のみなさまとの協同を大切にしつつ、ろうきんを知らせる運動を継続していきます。

鹿児島市天文館で12月25日、
鹿児島県本部・鹿児島支店の職員8名が、新商品『マイプラン・Beサイド』のチラシ配布を行いました。



鹿児島神宮宮司による神事、
玉串奉奠等の後、施主を代表して押川県本部長が、「漸くこの日を迎えることができた。会員の皆様のご理解・ご協力に感謝したい。日々発展を続ける姶良・霧島地区の中でこの地に新店舗を構えられることを皆様とともに喜び合いたい。今後、今まで以上に会員・利用者に親しく頂ける店舗作りに努めていきたい。事故なく工事が完了し、新

鹿児島神宮宮司による神事、
玉串奉奠等の後、施主を代表して押川県本部長が、「漸くこの日を迎えることができた。会員の皆様のご理解・ご協力に感謝したい。日々発展を続ける姶良・霧島地区の中でこの地に新店舗を構えられることを皆様とともに喜び合いたい。今後、今まで以上に会員・利用者に親しく頂ける店舗作りに努めていきたい。事故なく工事が完了し、新

鹿児島神宮宮司による神事、
玉串奉奠等の後、施主を代表して押川県本部長が、「漸くこの日を迎えることができた。会員の皆様のご理解・ご協力に感謝したい。日々発展を続ける姶良・霧島地区の中でこの地に新店舗を構えられることを皆様とともに喜び合いたい。今後、今まで以上に会員・利用者に親しく頂ける店舗作りに努めていきたい。事故なく工事が完了し、新

鹿児島神宮宮司による神事、
玉串奉奠等の後、施主を代表して押川県本部長が、「漸くこの日を迎えることができた。会員の皆様のご理解・ご協力に感謝したい。日々発展を続ける姶良・霧島地区の中でこの地に新店舗を構えられることを皆様とともに喜び合いたい。今後、今まで以上に会員・利用者に親しく頂ける店舗作りに努めていきたい。事故なく工事が完了し、新

鹿児島神宮宮司による神事、
玉串奉奠等の後、施主を代表して押川県本部長が、「漸くこの日を迎えることができた。会員の皆様のご理解・ご協力に感謝したい。日々発展を続ける姶良・霧島地区の中でこの地に新店舗を構えられることを皆様とともに喜び合いたい。今後、今まで以上に会員・利用者に親しく頂ける店舗作りに努めていきたい。事故なく工事が完了し、新

九州で頑張るNPOのみなさまへ 第10回 九州ろうきん 「NPO助成」募集概要のご案内

「ろうきん」では、ボランティア預金「NPOパートナーズ」の寄付金と、「ろうきん」の拠出金を財源とした「NPO助成」制度を設けています。九州で頑張るNPOの皆さま、是非ともご活用ください。「ろうきん」の理念である「人々が喜びをもって共生できる社会の実現」に共感いただける皆さまの積極的な応募を心よりお待ち申しあげます。

<http://kyusyu.rokin.or.jp/> (申請用紙も取得できます)

◇募集期間

2013年2月15日(金)
~2013年3月31日(日)

◇助成金額: 1,560万円
(九州全体)

①鹿児島県内の助成額: 210万円

②1団体当りの助成上限額: 30万円

※一部助成となる場合があります。

◇対象となる団体

○主たる事務所が九州ろうきんの営業エリア内にあるNPOその他のボランティア団体等とします。

※団体の規模や法人格の有無は問いません。

◇対象となる事業活動

九州ろうきんの営業エリアにおいて行われ、支援することが適切と認められるものとします。

◇選考基準

①活動の目的が明確で、社会性があること
②資金使途が明確であること

③先駆的・モデル的な活動であること

※他の助成団体から重複して助成を受けている場合は対象外とします。

◇必要書類

○ろうきん所定の申請用紙（上記HPから取得できます）、および、決算書その他の必要書類

※ご提出いただいた書類は返却いたしません。

◇スケジュール

応募団体審査 2013年4月中旬
助成決定通知 2013年4月下旬

助成フォーラム日程確定 "

助成フォーラム開催 2013年5月

助成金振込 2013年5月下旬

※選考は、各地区「ろうきんNPO助成審査委員会」が行う。

◇応募方法および提出先・問い合わせ先

所定の申請書にご記入の上、添付資料とともに下記住所まで郵送にてお送り下さい。

九州ろうきん鹿児島県本部

「NPO助成」係（担当：安楽）

〒892-8533

鹿児島市山之口町5-2

Tel099-225-2217

※応募方法等の詳細については、上記の当庫ホームページにてご確認下さい。

一方で、従前の店舗が設置されている始良市においても、これまで同様のサービス提供が求められる。店舗が移転することに

ができる運びとなった。利便性が向上することとなり、会員・利用者全員で喜んでいます。利用者一丸となって店舗運営も有数の発展性を誇る、伸び行く霧島地区に店舗を構えること

伊佐地域労福協会会長（加治木支店推進委員長）より、「県内でも

運営をお願いしたい。今後とも、盛り上げて行きたい」という趣旨の

ご挨拶を頂き終了しました。

利用者一丸となって店舗運営とならないよう、工夫した店舗運営を

運営をお願いしたい。今後とも、より一層の発展に向け、会員・

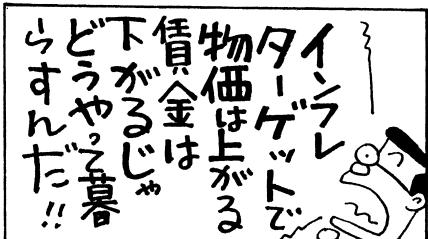
利用者一丸となって店舗運営を

運営をお願いしたい。今後とも、より一層の発展に向け、会員・

利用者一丸となって店舗運営を

完成予定：平成25年7月中旬
(7月下旬移転予定)
移転先住所：霧島市国分中央
5丁目894（パワーセンターゴートー建材館サッシ部
跡地)

ニュース笑アワー



らに地域に根ざしたるうきんとして、職員・推進委員会役員一同頑張りたい」と力強い挨拶を受けました。その後、来賓祝辞・祝電・メッセージ披露・会員表彰と続き、記念式典終了後の祝賀会で



《お詫び》

本誌第626号の6面、「私もひとこと」欄の「全タイヨー労働組合・押領司真人さん」の肩書きについて、「全タイヨー労働組合中央執行副書記長」と記載すべきところ、「鹿児島南支店青年女性推進委員会 推進委員(全タイヨー労働組合書記)」と記載しております。お詫びして訂正いたします。

新住所
〒891-0403
指宿市十二町537-1
TEL 0993-24-2111
(電話番号は変更なし)



（南日本新聞社他共催）が11月23日、鹿児島市宇帽子岳自然歩道にて開催され、友の会の14名（子供2名を含む）が参加しました。肌寒い雨上がりの曇り空でしたが、自然とふれあいながら、5km、10kmをそれぞれのペースで歩き、健康づくりに勤しみました。ウォーキング終了後、バーベキュー会となりました。



「2012健康ウォーク」参加者のみなさん

奄美市パークで開催された「グランプリ・ウンドゴウ」の親睦・交流を深めることとなりました。各コースでホールコンペが実施され、出る度に歓声が上がり、楽しい大会となりました。



爽やかな空の下、爽やかな笑顔で「ハイ、チーズ！」

出水市の鶴丸会館において12月12日、61名という多くの方に参加頂き、2012年度出水支店推進委員会・青年女性推進委員会合同イベントを開催しました。

イベントでは、労働金庫の成り立ちや現代社会における社会的役割に関するDVD上映を行ない、労金運動の必要性等に関する理解を深めました。その後はお待ちかねの交流会。豪華商品が当たる抽選会や単組・会員紹介を行い、大いに盛り上がりを見せました。また、多くの会員の方に参加頂いたこと、普段あまり接したことのない所

DVD学習で“ろうきん”的理解を深めました





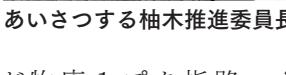
DVD学習で“ろうきん”的理解を深めました

労働金庫の設立について学習＆交流 出水支店推進委員会 青年女性推進委員会

グラウンドゴルフ大会開催 大島支店推進委員会

青年・女性推進委

祝！店舗開設30周年！！
徳之島支店推進委員会



指宿相談センターも移転オーブン（1月28日より）しました

式典・祝賀会での大いなるエネルギーを明日への活力とし、今後の労金運動に繋げていくことを確認し合うこととなりました。

は、黒潮太鼓に始まり、伊仙町役場・消防会員のバンド、徳島島町役場職員の手品、徳洲園職員の島歌・奄美六調と出し物が披露され、会場は一氣にお祝いムードに。最後の六調では参加者全員で踊り、大盛況のうちに終

「推進キャンペーン」のご案内

「推進キャンペーン」の概要

全労済では、2013年1月～同年3月末日までの間、「推進キャンペーン」を展開しております。

推進キャンペーンでは、左記の内容を目的と

しております、具体的な活動としては、各協力団体の皆さまや、地域住民の皆さま、そして、ぐりんぼう各拠点へご来店の方々に対しまして、(1)推奨共済のチラシの配布、(2)個別での相談窓口の設置、(3)掛金見積もり等を精力的に実施しております。

ご不明な点等ございましたら、訪問の全労済職員や各ぐりんぼう店舗までお問い合わせいただきますよう、お願ひいたします。

【推進キャンペーンの目的】

(1)近年、特に社会的にも関心度が高まっている次の危険に対し、正しい知識を持つていただくこと

①交通事故の危険

②火災や自然災害、地震等の危険

(2)危険に対して、「備えること」の必要性をご認識していただくこと

(3)「備え」に向けて、全労済商品を積極的に伝えることで、皆様にとって、より良い選択肢をお届けすること

■推進キャンペーン中の推進チラシ



「推進キャンペーン」での推奨共済

「推進キャンペーン」は、次の3つの共済を積極的に案内します。
いずれも、全労済が自信を持ってお勧めできる商品です。

- ①火災・自然災害共済
- ②自賠責共済
- ③マイカー共済

組合員の皆さまと全労済との関係をさらに強く、深めるために積極的な活動を展開中！

「推進キャンペーン」と連動した取り組み

「推進キャンペーン」の取り組みの輪をさらに広げるために、今月号と来月号において、「推進キャンペーン」に関連した内容をご紹介いたします。
今別号では、「交通事故の危険」に関連した内容いたします。

1. 近年の交通事故の特徴点

(1) 交通事故の発生件数

皆さまは、年間の交通事故の発生件数をご存知ですか？内閣府の「平成24年版交通安全白書」の調べでは、平成12年より10年間は減少傾向が続き、平成23年の交通事故発生件数は691,937件となっています。

しかしながら、この件数を時間で換算すると、「1分間で1・4件」の交通事故が発生していることになるため、減少傾向といえども、数値自体は非常に高いことになるため、できます。

(2) 高額賠償事故の増加

交通事故の種別は、「物損事故」「人身事故」とに分けられます。高額な賠償事故の判例も数多く発生しています。左表はその一例です。

物損事故	
被害物件	認定総損害額
積荷 (呉服・洋服等)	2億6,135万円
店舗 (パチンコ店)	1億3,580万円
電車・線路・家屋	1億2,036万円
電車	1億1,347万円
積荷	6,124万円

人身事故	
様態	認定総損害額
後遺障害	3億8,281万円
後遺障害	3億7,886万円
死亡	3億6,750万円
後遺障害	3億6,243万円
後遺障害	3億5,978万円

「交通事故の発生状況」や「高額賠償事故」等を踏まえると、万一本の備えである、「自賠責共済」と任意の「マイカー共済(保険)」での備えが必要となります。

2. 自賠責共済とマイカー共済の意味合い (加入の必要性)

交通事故は、いつ何時、被害者・加害者になるかがわかりません。万一を想定し、マイカー共済で十分な「備え」をご検討ください。

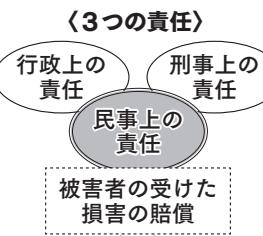
マイカー共済は数多くの魅力を兼ねた商品です。まずは、試しに掛金見積もりはいかがでしょうか。

①自賠責共済は「人身事故」のみの補償です。「物損事故」や「愛車の補償」については、任意のマイカー共済(保険)が必要です。

②高額事故に備えるためには、自賠責共済の補償だけでは不十分です。

②任意のマイカー共済加入の必要性

お客様より、「何故、マイカー共済(保険)の加入が必要なの?」の問い合わせを受けますが、端的に言えば、自賠責共済だけでは十分な補償を得ることができないからです。



自賠責保険(共済)による 「被害者救済」の実現

損害	損害の範囲	支払限度額(被害者1名あたり)
傷害による損害	治療関係費、文書料、休業損害、慰謝料	最高120万円
後遺障がいによる損害	過失利益、慰謝料等	後遺障がいの程度により、第1級:最高3000万円、第14級:最高75万円等
死亡による損害	葬儀費、死亡本人および遺族の慰謝料等	最高3000万円
死亡するまでの傷害による損害	治療関係費、文書料、休業損害、慰謝料	最高120万円

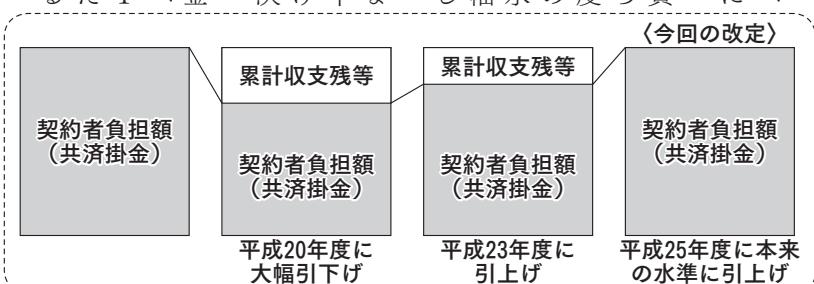
高額な賠償額を加害者負担としてしまうと、被害者が十分な補償額を受け取れないことが想定されます。そのため、被害者への補償が確実に行われるよう、「自賠責共済」が作られました。そして、その意味合いから、自動車運行の際は強制的な加入が義務付けられるようになりました。

(1) 共済掛金改定の概要	
ご契約者負担となる共済掛金は、全車平均すると、13・5%の引き上げとなります。	自家用乗用車24カ月契約の場合
現行24,950円から、改定27,840円	自家用軽四輪乗用車24カ月契約の場合
現行21,970円から、改定26,370円	13・5%の引き上げとなります。

平成25年4月1日以降の始期契約について、政府の自賠責保険審議会にて、自賠責共済の掛金改定が決定されました。

(2) 改定の背景

今回の掛金改定の背景は、平成20年4月の保険料改定に遡ります。平成20年4月当時、自賠責保険審議会では、「過去からまでの5年間で還元し、その累計収支残等を平成24年度まで、その後、本来の掛金水準に戻すこと」を前提に大幅な掛金引下げを決定しました。



2013年3月の講座紹介

開催日	講座内容	講 師	講座料金
3月5日(火) 10時~12時	伝える、伝わる話し方 ~相手に届く声の出し方と話し方のコツ~	ワーク・ライフ・バランス かごしま主宰 平野 トシミ	2,000円
3月12日(火) 10時~12時	自分を癒す経絡マッサージ ~代謝をあげて免疫力アップ~	NPO法人らくらく理事長 中村 雪子	2,000円
3月19日(火) 10時~12時	スタイル・リッシュレッスン ~ウォーキング&ファッショナードバイス~	ファッション&ウォーキングディレクター 赤岩 広志	2,000円
3月26日(火) 10時~12時	輝く私のカラーレッスン ~カラー・セラピーで心のお掃除~	Color Qualia代表 小浜田 倫子	2,000円

「全労済ぐりんぼう」では、「地域の方とのコミュニケーションを大切にする」という観点から、毎月週1回カラーセラピーなど「わたしスタイル塾(各種セミナー)」を開催しています。お申し込み・お問い合わせについては、「ワーク・ライフ・バランスかごしま」までお願いいたします。

＊「わたしスタイル塾」のご案内

場所／全労済ぐりんぼう鹿児島 4階会議室 住所／鹿児島市城南町7-28 ※駐車場完備
お申し込み・お問い合わせ先／【ワーク・ライフ・バランスかごしま】TEL:090-8228-6649(担当:平野)
※希望される講座をお申し込みください。(1回のセミナーから受講いただけます。)
※講座料金には材料費・資料代・お茶代・お菓子代が含まれています。
※定員が5人に満たない場合は中止させていただく場合がありますのでご了承ください。

カンボジア子ども教育支援

県労福協では、昨年から開発途上国の子どもの教育や貧困解消支援を目的として「カンボジアの子ども教育支援」の取り組みをしています。

2回目となる今回は、1月30日から2月3日までの日程で11名で訪問し、寺子屋4カ所で教科書の贈呈と子ども達との交流をしました。



寺小屋でジャンケンの歌を教えました

▲大縄飛びで大はしゃぎ
折り紙を丁寧に教えました▶

子ども達と交流

セントソクスラムの寺子屋（登録児童数63名）で、子ども達と縄跳びや折り紙、

数、保健衛生、生活の4冊を貸し出して、家庭で予習復習ができるようになり、学習効果の向上をめざします。

当日は、相談センターに電動リクライニング式の介護ベッドも搬入し、参加者同士で介護者・要介護者となつて実践も交えての本格的な講義を行つていただきました。

講義の最後に、先生から「要介護者はもちろんだが、介護をしている方も、非常に大きな心の負担を抱えることになる。そのような方のメンタルヘルスに思いを寄せることが大事なことです」との言葉があり、参加者全員、認識を深めました。

て、寺子屋教室の生徒全員に貸し出することにしました。

2012年に非公式教育用教科書の内容が改訂され、科目ごとに発行されました。ブノンペン市内3カ所、隣県カンダールの村1カ所で実施している寺子屋教室で、基礎的な読み書き、計算、健全な社会生活を送るための知識を学んでいる子ども達に、新しく発行された国語、算数、保健衛生、生活の4冊を貸し出して、家庭で予習復習ができるようになり、学習効果の向上をめざします。

当日は、相談センターに電動リクライニング式の介護ベッドも搬入し、参加者同士で介護者・要介護者となつて実践も交えての本格的な講義を行つていただきました。

講義の最後に、先生から「要介護者はもちろんだが、介護をしている方も、非常に大きな心の負担を抱えることになる。そのような方のメンタルヘルスに思いを寄せることが大事なことです」との言葉があり、参加者全員、認識を深めました。

ボール遊びを一緒に行い、子ども達も大喜びでした。

介護教室を開催

【南薩地域労福協】

人気の高さを感じさせるよう、地域労福協料理教室となりました。チエさんとイさんの

韓国人ご夫妻を講師に、チヂミやチャプチエなど4種類の韓国料理に腕をふるいました。中でもチヂミは、日本のお好み焼きに近い料理ですが、意外だった

ことは、油をたっぷり入れて焼くことにより、外はカリッと中はモツチリと仕上がるということでした。これには、参加者全員大いに参考になつたのではない

かと思います。

さて、日本の経済状況は、新自由主義社会の崩壊から未だ立ち直る事が出来ていませんが、生活の根柢がかかるようになると、年も参加します。このような状況の中、労働組合運動と労働者福祉運動に求められている役割はますます大きくなっています。我々にとって労福協運動は、あまり目立たない存在ではありますが、生活の根幹であります。今後の労福協運動に求められるのは、様々な価値観を括的な評価の中で考慮し、社会全体にとって何が共通の価値であるかを見極める事であります。皆様のご協力により労福協運動の更なる推進、そして何より本年が皆様方一人ひとりにとって実り多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

地域労福協会長から
年頭のあいさつ(前号からつづく)

北薩地域労福協会長
上園 哲也

先生の包丁さばきに見入る参加者

※前月号（新年号）で各地域労福協会長あいさつを掲載したため、各地協報告の記事が、少し以前の内容報告になります。お詫びします。

